



～ 自他共栄～ NO.30

2026年3月11日

発行責任者 根岸 大智

編集責任者 情 宣 部

会社：「昨年を確実に上回る金額とした上で、さらに前進を図るべく議論していく」
組合：生活を切り詰め努力している、満額回答を求める！
2026 JR 総連春闘第3回交渉～会社の考え～

中央本部は3月11日に2026JR総連春闘「第3回交渉」を行ないました。

会社の考え

- ・今年度、第3四半期までの鉄道事業は対前年102.2%となったがコスト増により対前年6億の減。また関連事業では営業収益が対前年8億増となり、単体の経常利益は対前年8.600万円となった。
- ・1～2月の雪害に加え、農産品、北海道地区の農産物の育成不良や飲料メーカーへのサイバー攻撃などにより減送となり、3月6日時点の運輸収入は対1月計画で△22.5億円となり5期連続赤字が確定している。
- ・2025年度の離職率は2.28%を見込んでいる。社として、メンター制度、初任給調整手当などにより、5年目までの離職率は減っているが6～14年目の離職が増加傾向にある。キャリア形成などフォローしていく。
- ・貴組合の要求水準には満たないものの、単体決算において5期連続の経営赤字は確実な状態で厳しいが物価高騰が続く中、賃上げが追い付いていないことなど主張を受けとめ、回答指定日まで社長を含め経営陣と議論していく。

青年部の主張

- ・物価上昇の中、青年部員は節約など行ない厳しい生活を続けている。しっかり受け止めるべきだ！
- ・慢性的な要員不足の中、災害対応に尽力し安全・安定輸送を維持してきた。超勤や休日出勤など協力してる中で、今26春闘への青年部員の期待は大きい！
- ・会社が示したベア実施について「昨年を確実に上回る金額とした上で、さらに前進を図るべく議論していく」とするならば、満額回答を示すべきだ！

ベースアップ一律18,000円の満額回答を強く求める！
満額回答をかち取る為に最後まで全員で闘い抜こう！